

秋田県内中小企業景況調査結果

(2023年10～12月期)

秋田県商工会議所連合会

〈内容〉

- I. 全産業の項目別DI値
- II. 産業別DI値
- III. 地域別DI値
- IV. 産業別設備投資
- V. 地域別設備投資
- VI. 経営上の問題点
- VII. 付帯調査
- VIII. 総括表

※ 景気判断・DI値とは、「増加」・「好転」・「過剰」したとする企業割合から「減少」・「悪化」・「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。
(▲:マイナス)

《参考》県内景況調査に対する各企業のコメント 一覧

〈回収状況〉

業種	対象企業数	有効回答企業数
建設業	40	32 (80.0%)
製造業	40	32 (80.0%)
卸売業	40	37 (92.5%)
小売業	40	33 (82.5%)
サービス業	40	35 (87.5%)
合計	200	169 (84.5%)

地域	対象企業数	有効回答企業数
県北	50	46 (92.0%)
県央	75	63 (84.0%)
県南	75	60 (80.0%)

I. 全産業の項目別DI値

1. 業況

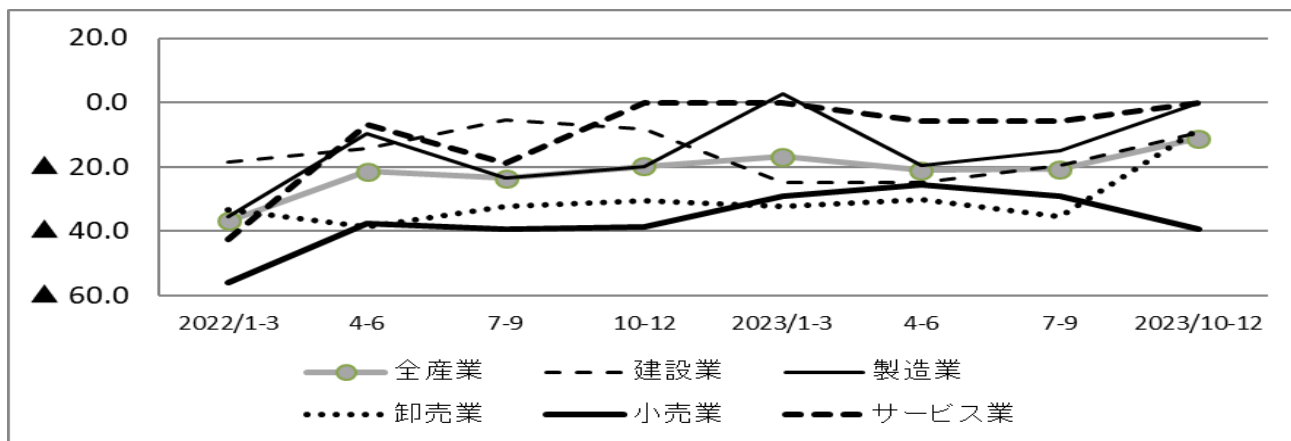
今期（10～12月）の業況DI値は、全産業で▲11.2と前期比で改善した。

産業別では、小売業が悪化した一方、卸売業と製造業が大幅に改善、建設業とサービス業も改善した。

来期の見通し（1～3月）は、全産業で▲17.1と今期比で悪化を見通している。

産業別では、製造業が大幅な悪化、卸売業とサービス業が悪化を見通す一方、小売業が改善、建設業もわずかながら改善を見通している。

	前期(7-9月)		今期(10-12月)			
	(A)	来期見通 (10~12月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(1~3月) (D)	今期比 (D)-(C)
		(B)				
全産業	▲ 20.7	▲ 19.6	▲ 11.2	9.5	▲ 17.1	-5.9
建設業	▲ 19.4	▲ 16.7	▲ 9.4	10.0	▲ 9.3	0.1
製造業	▲ 15.1	▲ 12.1	0.0	15.1	▲ 21.9	-21.9
卸売業	▲ 35.3	▲ 47.1	▲ 8.1	27.2	▲ 16.2	-8.1
小売業	▲ 29.1	▲ 19.4	▲ 39.4	-10.3	▲ 33.3	6.1
サービス業	▲ 5.7	▲ 2.9	0.0	5.7	▲ 5.7	-5.7



2. 売上額・完成工事額

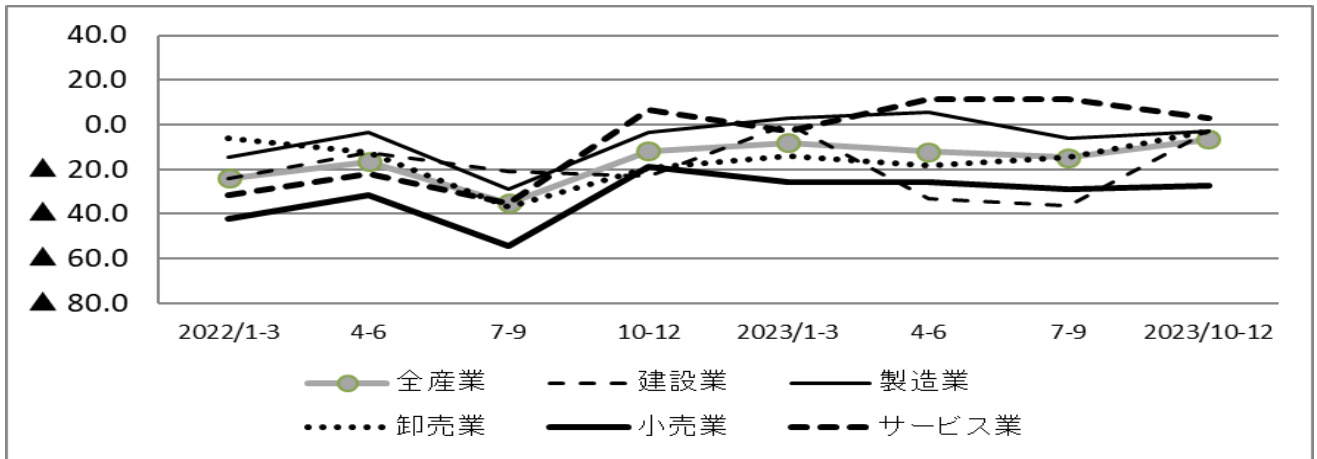
今期（10～12月）の売上額・完成工事額DI値は、全産業で▲6.5と前期比で改善した。

産業別では、サービス業が悪化した一方、建設業が大幅に改善、卸売業が改善、製造業と小売業もわずかながら改善した。

来期の見通し（1～3月）は、全産業で▲19.0と今期比で悪化を見通している。

産業別では、製造業と卸売業が大幅な悪化、建設業、サービス業、小売業が悪化を見通している。

	前期(7-9月)		今期(10-12月)			
	(A)	来期見通 (10~12月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(1~3月) (D)	今期比 (D)-(C)
		(B)				
全産業	▲ 14.8	▲ 13.6	▲ 6.5	8.3	▲ 19.0	-12.5
建設業	▲ 36.1	▲ 30.6	▲ 3.1	33.0	▲ 15.7	-12.6
製造業	▲ 6.1	▲ 3.0	▲ 3.1	3.0	▲ 25.0	-21.9
卸売業	▲ 14.7	▲ 29.4	▲ 2.7	12.0	▲ 18.9	-16.2
小売業	▲ 29.0	▲ 6.5	▲ 27.2	1.8	▲ 30.3	-3.1
サービス業	11.5	2.8	2.8	-8.7	▲ 5.7	-8.5



3. 資金繰り

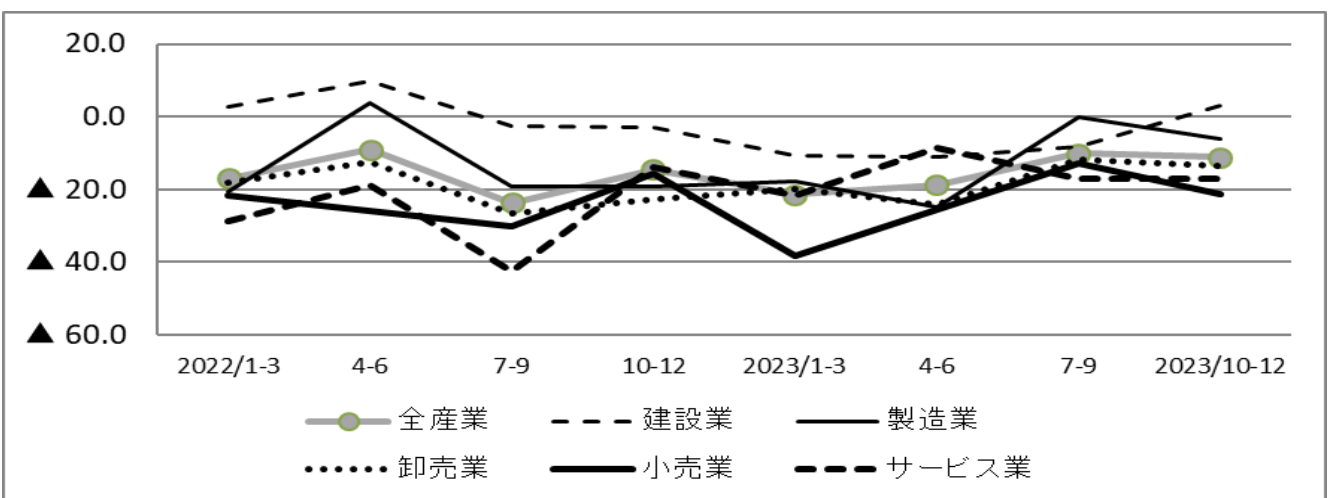
今期（10～12月）の資金繰りDI値は、全産業で▲11.2と前期比でわずかながら悪化した。

産業別では、小売業と製造業が悪化、卸売業とサービス業もわずかながら悪化した一方、建設業は改善した。

来期の見通し（1～3月）は、全産業で▲13.7と今期比でわずかながら悪化を見通している。

産業別では、製造業が大幅な悪化、建設業と卸売業が悪化を見通す一方、サービス業と小売業が改善を見通している。

	前期(7-9月)		今期(10-12月)			
	(A)	来期見通 (10~12月) (B)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(1~3月) (D)	今期比 (D)-(C)
全産業	▲ 10.1	▲ 11.2	▲ 11.2	-1.1	▲ 13.7	-2.5
建設業	▲ 8.3	▲ 13.8	3.1	11.4	▲ 3.1	-6.2
製造業	0.0	▲ 9.1	▲ 6.2	-6.2	▲ 28.1	-21.9
卸売業	▲ 11.7	▲ 20.6	▲ 13.5	-1.8	▲ 18.9	-5.4
小売業	▲ 12.9	0.0	▲ 21.2	-8.3	▲ 12.1	9.1
サービス業	▲ 17.1	▲ 11.4	▲ 17.2	-0.1	▲ 5.7	11.5



4. 受注残（未消化工事高）

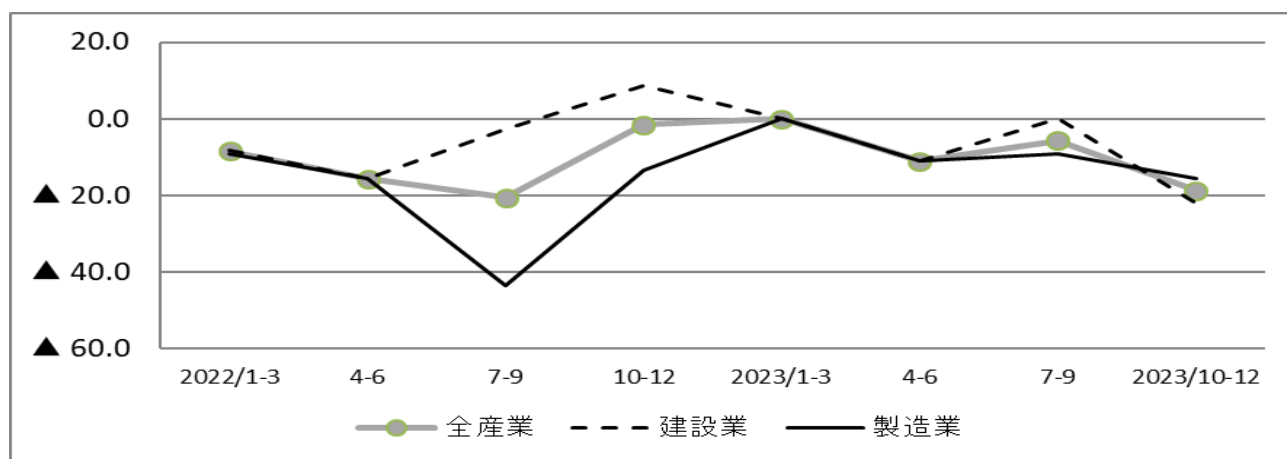
今期（10～12月）の受注残DI値は、全産業で▲18.7と前期比で悪化した。

産業別では、建設業が大幅に悪化、製造業も悪化した。

来期の見通し（1～3月）は、全産業で▲17.2と今期比でわずかながら改善を見通している。

産業別では、建設業が改善、製造業が横ばいを見通している。

	前期(7-9月)		(C)	今期(10-12月)		
	(A)	来期見通 (10~12月) (B)		前期比 (C)-(A)	来期見通(1~3月) (D)	今期比 (D)-(C)
全産業	▲ 5.7	▲ 5.8	▲ 18.7	-13.0	▲ 17.2	1.5
建設業	0.0	0.0	▲ 21.9	-21.9	▲ 18.7	3.2
製造業	▲ 9.1	▲ 12.1	▲ 15.6	-6.5	▲ 15.6	0.0



5. 採算（経常利益）

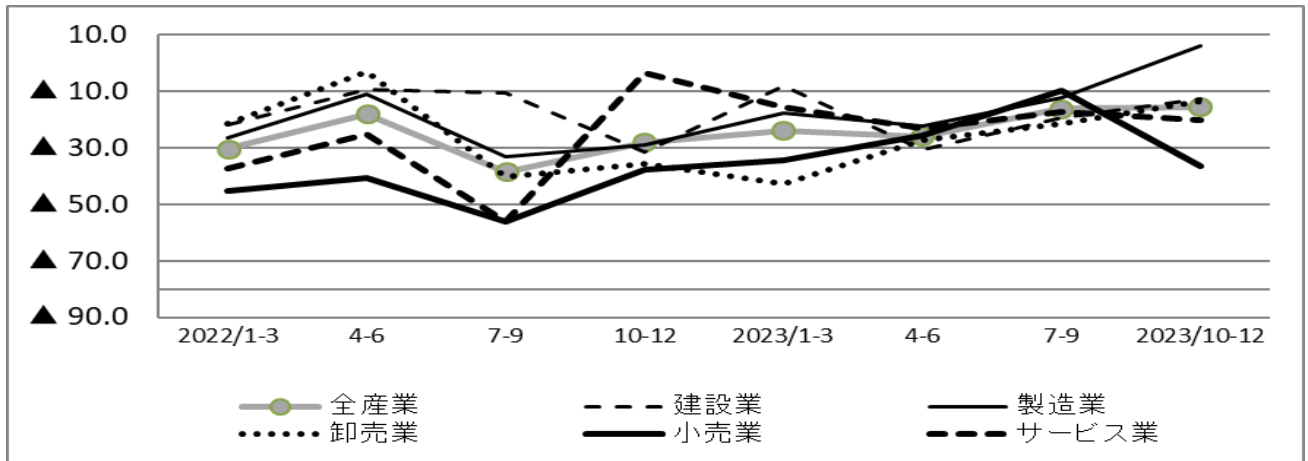
今期（10～12月）の採算DI値は、全産業で▲15.4と前期比でわずかながら改善した。

産業別では、小売業が大幅に悪化、サービス業がわずかながら悪化した一方、製造業が大幅に改善、卸売業と建設業も改善した。

来期の見通し（1～3月）は、全産業で▲17.2と今期比でわずかながら悪化を見通している。

産業別では、製造業が大幅な悪化、建設業が悪化を見通す一方、サービス業、小売業、卸売業が改善を見通している。

	前期(7-9月)		(C)	今期(10-12月)		
	(A)	来期見通 (10~12月) (B)		前期比 (C)-(A)	来期見通(1~3月) (D)	今期比 (D)-(C)
全産業	▲ 16.0	▲ 17.8	▲ 15.4	0.6	▲ 17.2	-1.8
建設業	▲ 19.5	▲ 19.5	▲ 12.5	7.0	▲ 18.7	-6.2
製造業	▲ 12.1	▲ 12.1	6.3	18.4	▲ 15.7	-22.0
卸売業	▲ 21.2	▲ 41.2	▲ 13.5	7.7	▲ 10.8	2.7
小売業	▲ 9.7	▲ 6.4	▲ 36.3	-26.6	▲ 30.3	6.0
サービス業	▲ 17.2	▲ 8.6	▲ 20.0	-2.8	▲ 11.4	8.6



6. 従業員（含む臨時）

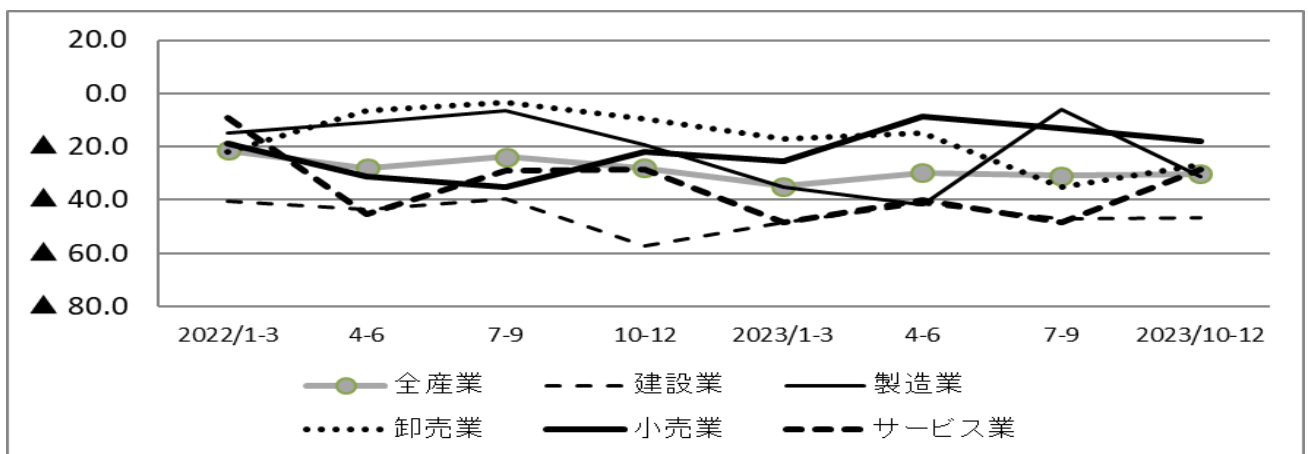
今期（10～12月）の従業員DI値は、全産業で▲30.2と前期比で不足感がわずかながら縮小した。

産業別では、製造業で不足感が大幅に拡大、小売業も不足感が拡大した一方、サービス業が不足感を大幅に縮小、卸売業が縮小、建設業もわずかながら縮小した。

来期の見通し（1～3月）は、全産業で▲27.8と今期比でわずかながら不足感の縮小を見通している。

産業別では、卸売業と小売業が不足感の拡大を見通す一方、製造業、建設業、サービス業が不足感の縮小を見通している。

	前期(7-9月)		今期(10-12月)			
	(A)	来期見通 (10~12月) (B)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(1~3月) (D)	今期比 (D)-(C)
全産業	▲ 30.8	▲ 32.0	▲ 30.2	0.6	▲ 27.8	2.4
建設業	▲ 47.2	▲ 47.2	▲ 46.9	0.3	▲ 37.5	9.4
製造業	▲ 6.1	▲ 15.1	▲ 31.3	-25.2	▲ 21.8	9.5
卸売業	▲ 35.3	▲ 26.5	▲ 27.0	8.3	▲ 32.4	-5.4
小売業	▲ 12.9	▲ 16.2	▲ 18.1	-5.2	▲ 21.2	-3.1
サービス業	▲ 48.5	▲ 51.4	▲ 28.6	19.9	▲ 25.7	2.9



II. 産業別DI値

1. 建設業

今期（10～12月）のDI値は、業況が▲9.4と前期比で改善した。

項目別では、受注残が大幅に悪化した一方、完成工事額が大幅に改善、資金繰りと採算が改善した。従業員は不足感がわずかながら縮小した。

企業からは、「災害復旧関連の工事が終わり一安心している。他の工事も見込みが見えてきた」【一般土木建築工事業】や、「年末の駆け込み需要が多く、雪解けを待つ工事と併せ、春先の工事も確保できている」【板金工事業】とのコメントがあった。

来期の見通し（1～3月）は、業況が▲9.3と今期比でわずかながら改善を見通している。

項目別では、完成工事額、資金繰り、採算が悪化を見通す一方、受注残が改善を見通している。従業員の不足感は縮小を見通している。

企業からは「物価の高騰が続いており不透明である」【総合建築工事業】や、「材料や経費（運搬等）等価格変動を見て工事を控える方が多い。昨年のような受注確保は難しいかもしれないが、営業努力で受注確保を目指す」【板金工事業】とのコメントがあった。

	前期(7-9月)		(C)	今期(10-12月)		
	(A)	来期見通 (10~12月) (B)		前期比 (C)-(A)	来期見通(1~3月) (D)	今期比 (D)-(C)
業況	▲ 19.4	▲ 16.7	▲ 9.4	10.0	▲ 9.3	0.1
完成工事額	▲ 36.1	▲ 30.6	▲ 3.1	33.0	▲ 15.7	-12.6
資金繰り	▲ 8.3	▲ 13.8	3.1	11.4	▲ 3.1	-6.2
受注残	0.0	0.0	▲ 21.9	-21.9	▲ 18.7	3.2
採算(経常利益)	▲ 19.5	▲ 19.5	▲ 12.5	7.0	▲ 18.7	-6.2
従業員(含む臨時)	▲ 47.2	▲ 47.2	▲ 46.9	0.3	▲ 37.5	9.4

2. 製造業

今期（10～12月）のDI値は、業況が▲0.0と前期比で大幅に改善した。

項目別では、受注残と資金繰りで悪化した一方、採算が大幅に改善し、売上額も改善した。従業員の不足感は大幅に拡大した。

企業からは、「価格転嫁が進んだおかげで、前期より売上・採算共に増加した」【コンクリート製造】や、「スポットでの案件や営業権譲渡などが重なり、売上と採算が増加した」とのコメントがあった。

来期の見通し（1～3月）は、業況が▲21.9と今期比で大幅な悪化を見通している。

項目別では、採算、売上額、資金繰りが大幅な悪化を見通している。受注残は横ばいを見通している。従業員は不足感の縮小を見通している。

企業からは、「前期より景況感が更に冷え込みそうな予感【金属製品製造業】とのコメントがあった一方、「新店舗オープンにより売上アップを期待している」【漬物製造】との前向きなコメントもあった。

	前期(7-9月)		(C)	今期(10-12月)		
	(A)	来期見通 (10~12月) (B)		前期比 (C)-(A)	来期見通(1~3月) (D)	今期比 (D)-(C)
業況	▲ 15.1	▲ 12.1	0.0	15.1	▲ 21.9	-21.9
売上額	▲ 6.1	▲ 3.0	▲ 3.1	3.0	▲ 25.0	-21.9
資金繰り	0.0	▲ 9.1	▲ 6.2	-6.2	▲ 28.1	-21.9
受注残	▲ 9.1	▲ 12.1	▲ 15.6	-6.5	▲ 15.6	0.0
採算(経常利益)	▲ 12.1	▲ 12.1	6.3	18.4	▲ 15.7	-22.0
従業員(含む臨時)	▲ 6.1	▲ 15.1	▲ 31.3	-25.2	▲ 21.8	9.5

3. 卸売業

今期（10～12月）のDI値は、業況が▲8.1と前期比で大幅に改善した。

項目別では、売上額と採算が改善した一方、資金繰りがわずかながら悪化した。従業員の不足感は縮小した。

企業からは、「天候不良により相場が高騰し、売上が増加した」【野菜卸売業】とのコメントがあった。

来期の見通し（1～3月）は、業況が▲16.2と今期比で悪化を見通している。

項目別では、売上額が大幅な悪化、資金繰りが悪化を見通す一方、採算はわずかながら改善を見通している。従業員の不足感は拡大を見通している。

	前期(7-9月)		今期(10-12月)			
	(A)	来期見通 (10~12月) (B)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(1~3月) (D)	今期比 (D)-(C)
業況	▲ 35.3	▲ 47.1	▲ 8.1	27.2	▲ 16.2	-8.1
売上額	▲ 14.7	▲ 29.4	▲ 2.7	12.0	▲ 18.9	-16.2
資金繰り	▲ 11.7	▲ 20.6	▲ 13.5	-1.8	▲ 18.9	-5.4
採算(経常利益)	▲ 21.2	▲ 41.2	▲ 13.5	7.7	▲ 10.8	2.7
従業員(含む臨時)	▲ 35.3	▲ 26.5	▲ 27.0	8.3	▲ 32.4	-5.4

4. 小売業

今期（10～12月）のDI値は、業況が▲39.4と前期比で悪化した。

項目別では、採算が大幅に悪化、資金繰りが悪化した一方、売上額はわずかながら改善した。従業員は不足感が拡大した。

企業からは、「メーカーの値上げにより、売上と仕入のバランスが良くなかった」【タイヤ販売】とのコメントがあった。

来期の見通し（1～3月）は、業況が▲33.3と今期比で改善を見通している。

項目別では、売上額が悪化を見通す一方、資金繰りと採算は改善を見通している。従業員の不足感は拡大を見通している。

企業からは、「景気が戻ってきたとはいえ、まだ回復はしていない」【菓子製造販売】や、「雪不足により売上が減少している」【金物小売】とのコメントがあった。

	前期(7-9月)		今期(10-12月)			
	(A)	来期見通 (10~12月) (B)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(1~3月) (D)	今期比 (D)-(C)
業況	▲ 29.1	▲ 19.4	▲ 39.4	-10.3	▲ 33.3	6.1
売上額	▲ 29.0	▲ 6.5	▲ 27.2	1.8	▲ 30.3	-3.1
資金繰り	▲ 12.9	0.0	▲ 21.2	-8.3	▲ 12.1	9.1
採算(経常利益)	▲ 9.7	▲ 6.4	▲ 36.3	-26.6	▲ 30.3	6.0
従業員(含む臨時)	▲ 12.9	▲ 16.2	▲ 18.1	-5.2	▲ 21.2	-3.1

5. サービス業

今期（10～12月）のDI値は、業況が0.0と前期比で改善した。

項目別では、売上額が悪化、採算と資金繰りもわずかながら悪化した。従業員の不足感は大幅に縮小した。

企業からは、「石油をはじめ、様々な製品の値上がりが続いており、業況が悪化している」【普通洗濯業】や、「昨年比で売上は増加しているが、コロナ前との比較では60%程度の回復状況であり、資金繰りは悪化している」【冠婚葬祭式場】とのコメントがあった。

来期の見通し（1～3月）は、業況が▲5.7と今期比で悪化を見通している。

項目別では、売上額が悪化を見通す一方、資金繰りと採算は改善を見通している。従業員の不足感はわずかながら縮小を見通している。

企業からは「天候等にも影響されるが、悪化が見込まれる」【普通洗濯業】や、「増加予測だが、コロナ前との比較では70%弱程度の回復状況となっ

ているため、資金繰りは悪化する見通し」【冠婚葬祭式場】とのコメントがあった。

	前期(7-9月)		(C)	今期(10-12月)		
	(A)	来期見通 (10~12月) (B)		前期比 (C)-(A)	来期見通(1~3月) (D)	今期比 (D)-(C)
業況	▲ 5.7	▲ 2.9	0.0	5.7	▲ 5.7	-5.7
売上額	11.5	2.8	2.8	-8.7	▲ 5.7	-8.5
資金繰り	▲ 17.1	▲ 11.4	▲ 17.2	-0.1	▲ 5.7	11.5
採算(経常利益)	▲ 17.2	▲ 8.6	▲ 20.0	-2.8	▲ 11.4	8.6
従業員(含む臨時)	▲ 48.5	▲ 51.4	▲ 28.6	19.9	▲ 25.7	2.9

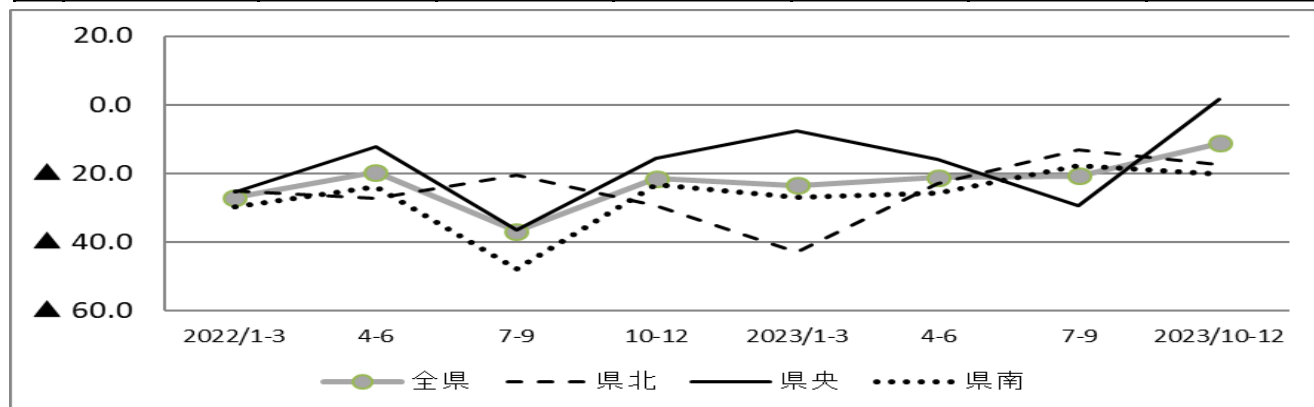
Ⅲ. 地域別DI値

1. 業況

今期（10～12月）のDI値は、前期比で県北が悪化、県南がわずかながら悪化した一方、県央は大幅に改善した。

来期の見通し（1～3月）は、今期比で県央が大幅な悪化を見通す一方、県北と県南は横ばいを見通している。

	前期(7-9月)		(C)	今期(10-12月)		
	(A)	来期見通 (10~12月) (B)		前期比 (C)-(A)	来期見通(1~3月) (D)	今期比 (D)-(C)
全 県	▲ 20.7	▲ 19.6	▲ 11.2	9.5	▲ 17.1	-5.9
県 北	▲ 13.1	▲ 23.9	▲ 17.4	-4.3	▲ 17.4	0.0
県 央	▲ 29.5	▲ 24.6	1.6	31.1	▲ 14.3	-15.9
県 南	▲ 17.8	▲ 11.3	▲ 20.0	-2.2	▲ 20.0	0.0

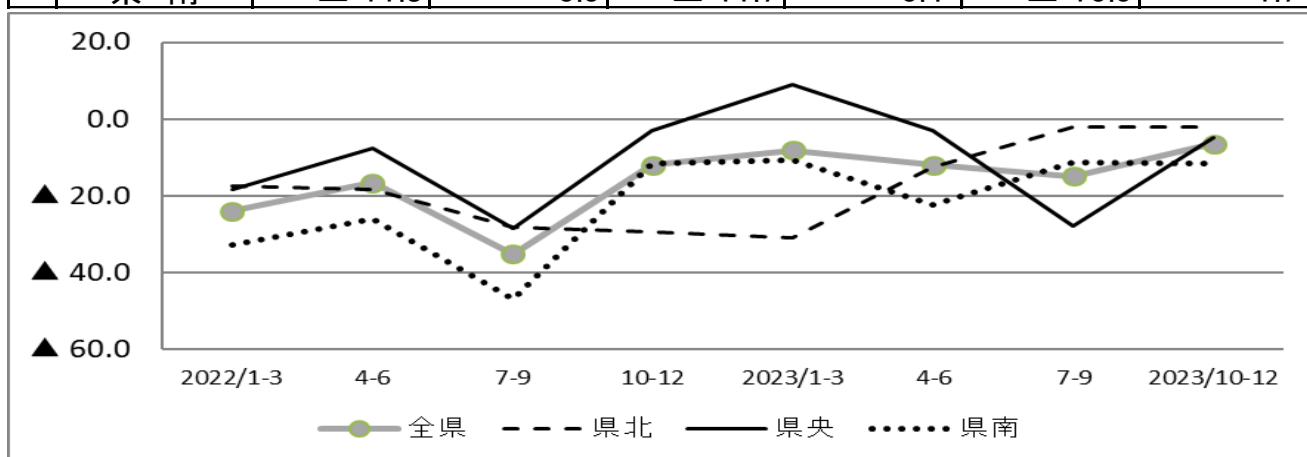


2. 売上額・完成工事額

今期（10～12月）のDI値は、前期比で県央が大幅に改善した一方、県南はわずかながら悪化した。県北は横ばいとなった。

来期の見通し（1～3月）は、今期比で県北と県央が大幅な悪化を見通す一方、県南はわずかながら改善を見通している。

	前期(7-9月)		(C)	今期(10-12月)		
	(A)	来期見通(10~12月) (B)		前期比 (C)-(A)	来期見通(1~3月) (D)	今期比 (D)-(C)
全 県	▲ 14.8	▲ 13.6	▲ 6.5	8.3	▲ 19.0	-12.5
県 北	▲ 2.2	▲ 17.4	▲ 2.2	0.0	▲ 23.9	-21.7
県 央	▲ 27.8	▲ 24.6	▲ 4.7	23.1	▲ 23.8	-19.1
県 南	▲ 11.3	0.0	▲ 11.7	-0.4	▲ 10.0	1.7

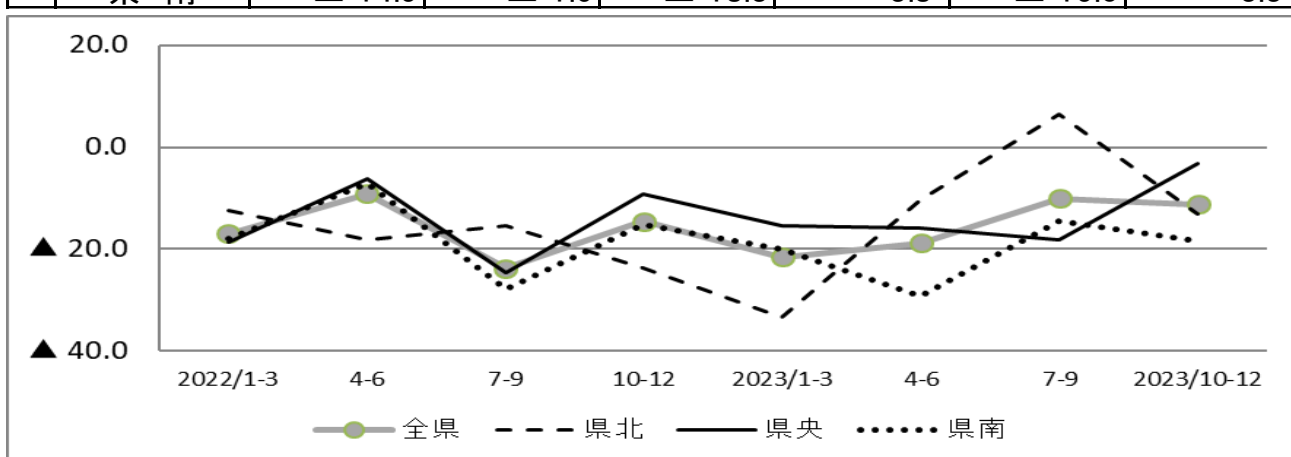


3. 資金繰り

今期（10～12月）のDI値は、前期比で県北が大幅に悪化、県南が悪化した一方、県央は改善した。

来期の見通し（1～3月）は、県央と県北が悪化を見通す一方、県南は改善を見通している。

	前期(7-9月)		(C)	今期(10-12月)		
	(A)	来期見通(10~12月) (B)		前期比 (C)-(A)	来期見通(1~3月) (D)	今期比 (D)-(C)
全 県	▲ 10.1	▲ 11.2	▲ 11.2	-1.1	▲ 13.7	-2.5
県 北	6.5	▲ 13.1	▲ 13.1	-19.6	▲ 17.4	-4.3
県 央	▲ 18.1	▲ 19.7	▲ 3.2	14.9	▲ 9.6	-6.4
県 南	▲ 14.5	▲ 1.6	▲ 18.3	-3.8	▲ 15.0	3.3

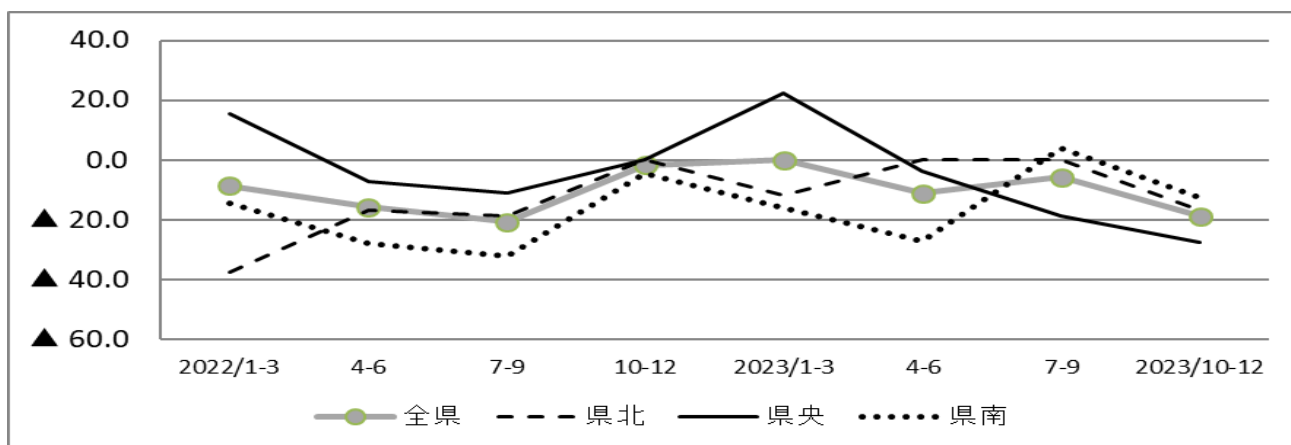


4. 受注残（未消化工事高）

今期（10～12月）のDI値は、前期比で県北と県南が大幅に悪化、県央も悪化した。

来期の見通し（1～3月）は、今期比で県央が悪化を見通す一方、県北と県南は改善を見通している。

	前期(7-9月)		今期(10-12月)			
	(A)	来期見通 (10~12月) (B)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(1~3月) (D)	今期比 (D)-(C)
全 県	▲ 5.7	▲ 5.8	▲ 18.7	-13.0	▲ 17.2	1.5
県 北	0.0	0.0	▲ 16.7	-16.7	▲ 5.6	11.1
県 央	▲ 18.5	▲ 19.2	▲ 27.3	-8.8	▲ 36.4	-9.1
県 南	3.9	3.8	▲ 12.5	-16.4	▲ 8.4	4.1

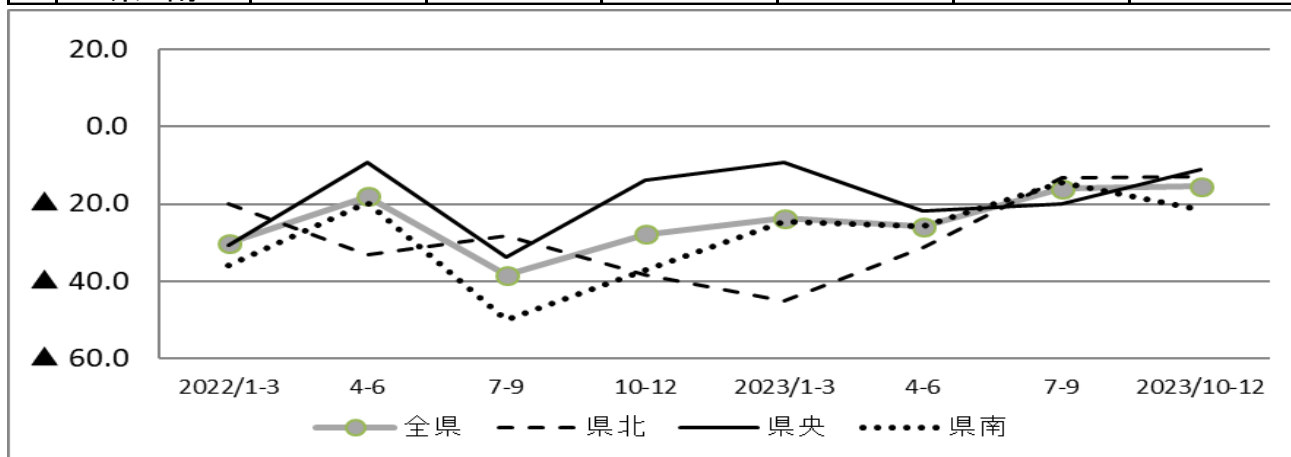


5. 採算（経常利益）

今期（10～12月）のDI値は、前期比で県南が悪化した一方、県央と県北は改善した。

来期の見通し（1～3月）は、今期比で県央が悪化を見通す一方、県南は改善を見通している。 県北は横ばいを見通している。

	前期(7-9月)		今期(10-12月)			
	(A)	来期見通 (10~12月) (B)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(1~3月) (D)	今期比 (D)-(C)
全 県	▲ 16.0	▲ 17.8	▲ 15.4	0.6	▲ 17.2	-1.8
県 北	▲ 13.1	▲ 24.0	▲ 13.0	0.1	▲ 13.0	0.0
県 央	▲ 20.0	▲ 18.0	▲ 11.1	8.9	▲ 19.0	-7.9
県 南	▲ 14.5	▲ 12.9	▲ 21.6	-7.1	▲ 18.3	3.3

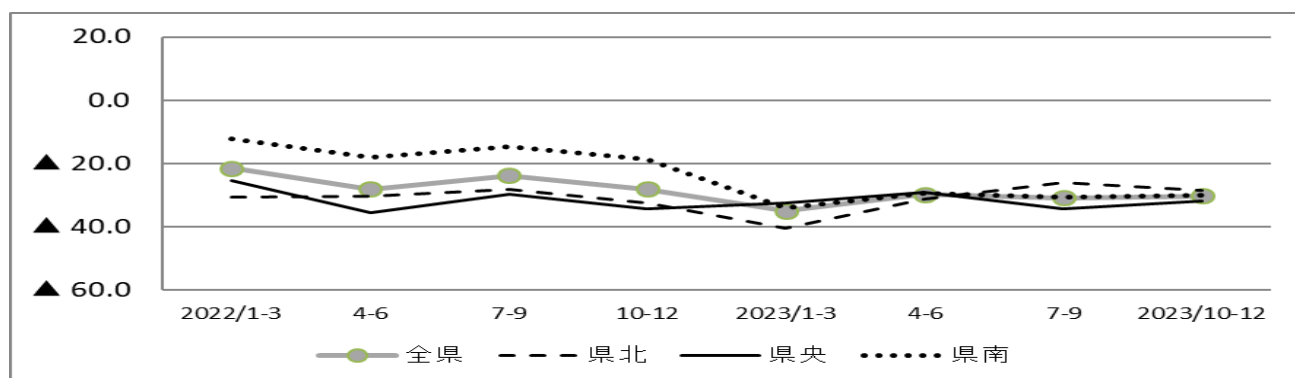


6. 従業員（含む臨時）

今期（10～12月）のDI値は、前期比で県北がわずかながら不足感を拡大し、県央と県南はわずかながら不足感を縮小した。

来期の見通し（1～3月）は、今期比で県北と県南は不足感が拡大する一方、県央は不足感の縮小を見通している。

	前期(7-9月)		今期(10-12月)			
	(A)	来期見通 (10~12月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(1~3月) (D)	今期比 (D)-(C)
		(B)				
全 県	▲ 30.8	▲ 32.0	▲ 30.2	0.6	▲ 27.8	2.4
県 北	▲ 26.1	▲ 26.1	▲ 28.3	-2.2	▲ 32.6	-4.3
県 央	▲ 34.4	▲ 37.7	▲ 31.7	2.7	▲ 19.0	12.7
県 南	▲ 30.7	▲ 30.6	▲ 30.0	0.7	▲ 33.4	-3.4



IV. 産業別設備投資

全産業における今期（10～12月）の設備投資については、「実施した」とする企業は、62件と前期比で同数となった。

産業別では、「実施した」とする中で最も多かったのは、建設業と製造業（16件）、次いでサービス業（13件）、卸売業（10件）の順となっている。

全産業で、設備投資内容の最も多かったのは、「車両・運搬具」（16件）、次いで「建物・工場・店舗」（15件）、「機械・設備・倉庫」（13件）の順となっている。

来期（1～3月）の計画では、全産業で「計画している」としたのは55件で、今期比で7件減少している。

産業別では、「計画している」とした中で最も多かったのは、製造業と卸売業（14件）、次いでサービス業（12件）、建設業（9件）の順となっている。

全産業で、設備投資内容の最も多かったのは「車両・運搬具」（15件）、次いで「機械・設備・倉庫」（12件）、「OA機器」（11件）の順となっている。

設備投資状況

(件数)

	前期(7-9月)				今期(10-12月)					
	実施した (A)	実施しない	来期見通(10~12月)		実施した (C)	実施しない	前期比 (C-A)	来期見通(1~3月)		
			計画している (B)	計画していない				計画している (D)	計画していない	今期比 (D-C)
全 産 業	62	107	56	113	62	107	0	55	114	▲ 7
建 設 業	10	26	15	21	16	16	6	9	23	▲ 7
製 造 業	13	20	14	19	16	16	3	14	18	▲ 2
卸 売 業	11	23	9	25	10	27	▲ 1	14	23	4
小 売 業	11	20	5	26	7	26	▲ 4	6	27	▲ 1
サ ー ビ ス 業	17	18	13	22	13	22	▲ 4	12	23	▲ 1

設備内容(複数回答)

(件数)

	全産業		建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
①土地	5	2	2	0	2	1	0	0	0	0	1	1
②建物・工場・店舗	15	10	4	4	4	2	2	2	2	0	3	2
③機械・設備・倉庫	13	12	2	0	7	10	1	0	1	0	2	2
④車両・運搬具	16	15	4	3	2	1	4	6	3	4	3	1
⑤付帯施設	5	7	0	0	1	2	0	1	0	1	4	3
⑥OA機器	10	11	4	2	1	1	2	4	1	0	2	4
⑦福利厚生施設	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
⑧その他	5	5	0	0	1	0	4	4	0	1	0	0
合計	70	64	17	10	18	17	13	17	7	6	15	14

V. 地域別設備投資

今期(10~12月)の設備投資について、「実施した」企業は、前期比で県央が減少し、県北と県南は増加した。

設備投資で最も多いのは、県北が「機械・設備・倉庫」(5件)、県央が「車両・運搬具」(11件)、県南が「建物・工場・店舗」(9件)となった。

来期(1~3月)の設備投資について、「計画している」企業は、今期比で県北と県南が減少、県央で増加を見通している。

「計画している」企業の設備内容で最も多かったのは、県北が「機械・設備・倉庫」と「車両・運搬具」(いずれも4件)、県央が「車両・運搬具」(8件)、県南が「建物・工場・店舗」(5件)となっている。

設備投資状況

(件数)

	前期(7-9月)				今期(10-12月)						
	実施した (A)	実施しない	来期見通(10~12月)		実施した (C)	実施しない	前期比 (C-A)	来期見通(1~3月)			
			計画している (B)	計画していない				計画している (D)	計画していない	今期比 (D-C)	
全体	62	107	56	113	62	107	0	55	114	▲7	
県北	10	36	11	35	15	31	5	14	32	▲1	
県央	33	28	24	37	24	39	▲9	26	37	2	
県南	19	43	21	41	23	37	4	15	45	▲8	

設備内容(複数回答)

(件数)

	全県		県北		県央		県南	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
①土地	5	2	1	0	3	0	1	2
②建物・工場・店舗	15	10	4	2	2	3	9	5
③機械・設備・倉庫	13	12	5	4	4	6	4	2
④車両・運搬具	16	15	2	4	11	8	3	3
⑤付帯施設	5	7	0	1	3	6	2	0
⑥OA機器	10	11	2	3	3	4	5	4
⑦福利厚生施設	1	2	1	0	0	2	0	0
⑧その他	5	5	1	1	3	3	1	1
合計	70	64	16	15	29	32	25	17

VI. 経営上の問題点

産業別における「経営上の問題点」は、建設業が「従業員の確保難」、製造業、卸売業、小売業が「需要の停滞」、サービス業が「従業員の確保難」を第1位に挙げている。

2位以下の項目では、建設業が「熟練技術者の確保難」「下請業者の確保難」、製造業が「原材料価格の上昇」、卸売業と小売業が「仕入単価の上昇」、卸売業が「従業員の確保難」、小売業が「消費者ニーズの変化への対応」、サービス業が「材料等仕入れ単価の上昇」を問題点として挙げており、人材確保、需要停滞、物価高騰、消費者ニーズ変化への対応等が経営課題となっていることが窺える。

	1位		2位		3位	
建設業	従業員の確保難		熟練技術者の確保難		下請業者の確保難	
	29.0%	9件	27.6%	8件	28.0%	7件
製造業	需要の停滞		原材料価格の上昇		需要の停滞	
	23.3%	7件	24.1%	7件	23.1%	6件
卸売業	需要の停滞		仕入単価の上昇		従業員の確保難	
	23.5%	8件	20.7%	6件	39.3%	11件
小売業	需要の停滞		消費者ニーズの変化への対応		仕入単価の上昇	
	20.0%	6件	16.7%	1件	21.4%	6件
サービス業	従業員の確保難		材料等仕入れ単価の上昇		材料等仕入れ単価の上昇	
	35.5%	11件	19.4%	6件	35.7%	10件

※ %は1位、2位、3位それぞれの回答数(=100%)の割合を示したものの。

参考:1~3位を累計した場合

	1位		2位		3位	
建設業	従業員の確保難		熟練技術者の確保難		下請業者の確保難	
	18.8%	16件	16.5%	14件	15.3%	13件
製造業	原材料価格の上昇		従業員の確保難 需要の停滞		生産設備の不足・老朽化	
	16.3%	14件	15.1%	13件	10.5%	9件
卸売業	従業員の確保難		人件費以外の経費の増加		仕入単価の上昇	
	23.1%	21件	15.4%	14件	14.3%	13件
小売業	仕入単価の上昇		人件費の増加 従業員の確保難		人件費以外の経費の増加	
	14.8%	13件	12.5%	11件	10.2%	9件
サービス業	材料等仕入れ単価の上昇 従業員の確保難		人件費以外の経費の増加 需要の停滞		店舗施設の狭隘・老朽化	
	18.2%	16件	9.1%	8件	8.0%	7件

※ %は1~3位までの総回答数(=100%)の割合を示したものの。

【付帯調査】◎電子帳簿の保存、人材不足・確保・募集に係る調査

IV. 電子帳簿保存法改正への対応状況について

- ・電子帳簿保存法改正への対応状況について聞いたところ、回答のあった169社中、①「既に準備を完了している」が64社37.9%、②「準備に取り掛かっている」が38社22.5%、④「情報収集は行っているが、取り掛かっていない」が32社18.9%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比
①既に準備を完了している	64	37.9%
②準備に取り掛かっている	38	22.5%
③導入を検討している	20	11.8%
④情報収集は行っているが、取り掛かっていない	32	18.9%
⑤導入しない（導入の必要がない）	15	8.9%
⑥その他	0	0.0%
合 計	169	100.0%

V. 電子帳簿保存に向けた現在の進捗状況について（複数回答）

- ・問IVで②「準備に取り掛かっている」、③「導入を検討している」、④「情報収集は行っているが、取り掛かっていない」と回答のあった90社に対し、その理由を聞いたところ、①「対応するサービスを検討中（会計、文書管理システム等）」が49件54.4%、②「社内の事務処理規定等を整備中」が33件36.7%、③「取引先と調整中」が18件20.0%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比
① 対応するサービスを検討中（会計、文書管理システム等）	49	54.4%
② 社内の事務処理規定等を整備中	33	36.7%
③ 取引先と調整中	18	20.0%
④ その他	4	4.4%

○その他のコメント

＜建設業＞

- ・情報収集中（電気工事業）

＜卸売業＞

- ・情報収集中（農業土木資材卸売）

＜小売業＞

- ・全く進んでいない（衣類販売）
- ・税理士に相談中（酒類、食料品）

VI. 従業員数の増減について

- ・従業員数の増減について聞いたところ、回答のあった169社中、③「変化なし」が95社56.2%、④「減少した（1～4人以下の減少）」が37社21.9%、②「増加した（1～4人以下の増加）」が28社16.5%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比
①大幅に増加した（5人以上の増加）	3	1.8%
②増加した（1～4人以下の増加）	28	16.5%
③変化なし	95	56.2%
④減少した（1～4人以下の減少）	37	21.9%
⑤大幅に減少した（5人以上の減少）	6	3.6%
合 計	169	100.0%

VII. 採用活動の状況について

- ・採用活動の状況について回答のあった169社に聞いたところ、②「採用が難しくなっている」が79件46.7%、⑤「変わらない」と⑥「採用を行っていないのでわからない」が24件14.2%、①「全く採用できていない」が20件11.8%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比
①全く採用できていない	20	11.8%
②採用が難しくなっている	79	46.7%
③十分採用できている	6	3.6%
④比較的採用できている	16	9.5%
⑤変わらない	24	14.2%
⑥採用を行っていないのでわからない	24	14.2%
合 計	169	100.0%

VIII. 人材募集の方法について（複数回答）

- ・人材募集の方法について回答のあった169社に聞いたところ、①「ハローワーク」が153件90.5%、⑧「知人・友人等からの紹介（縁故採用）」と⑪「高齢者の継続雇用」が50件29.6%、⑩「定年退職者の再雇用」が48件28.4%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比
①ハローワーク	153	90.5%
②人材サービス会社（民間の職業紹介機関）	22	13.0%
③求人Web媒体（就職サイト等）	29	17.2%
④自社ホームページへの掲載	32	18.9%
⑤ソーシャルリクルーティング（face book等SNS活用）	41	24.3%
⑥採用を行っていないのでわからない	9	5.3%
⑦会社説明会の開催・参加（合同説明会を含む）	36	21.3%
⑧知人・友人等からの紹介（縁故採用）	50	29.6%
⑨非正社員からの正社員転換	9	5.3%

⑩定年退職者の再雇用	48	28.4%
⑪高齢者の継続雇用	50	29.6%
⑫その他	3	1.8%

○その他のコメント

<小売業>

- ・開業以降募集活動を行っていない（靴小売業）

<サービス業>

- ・募集したことが無い（自動車整備）
- ・学校からの紹介

Ⅸ. 人材確保の課題や要望等について（自由記入）

<建設業>

- ・有資格者を採用したい（木造建築工事業）
- ・今後定年退職が一気に増加するため、検討課題となっている（塗装工事業）
- ・参加可能な就職説明会（学校単位で実施されるものを含む）を紹介してほしい（一般電気工事業）
- ・朝7時半に出勤できない若者が多い。給与や社会保障制度を整えても応募が少なく、長続きしない若者も多い（板金工事業）

<製造業>

- ・労働に関し様々な制約があるため、法律の再考が必要と思う（水産物製造・卸売業）
- ・数は充足も熟練者不足となっている（印刷業）
- ・コロナ移行の影響か、求人を出すと反応があった（印刷業）
- ・質の低下が課題。人数確保や求人方法ではなく、能力が欲しい（金属製品製造業）

<卸売業>

- ・休日をどのように増やすかを検討しているものの、顧客の選別が出来ずにいる状況である（紙製品卸売業）
- ・首都圏からの移住者を促進させる取組を県全体で行うべき。暮らしやすさを前面に出して雇用不足をPRする（青果・水産物卸）

<小売業>

- ・少子化に加え、若年者の県外流出により、新卒者の確保が困難である（自動車小売業）
- ・人口減少により働き手不足は簡単に解消できない。企業間による人材の貸し借り等、法的整備が急務であると考えている（生花・造花販売）
- ・中途採用を優先していたが、新卒採用も視野に入れないと人が来ない（事務用品販売）

<サービス業>

- ・増員したいが資格保有者がおらず、増員できない（自動車一般整備業）
- ・若年者の応募が無いため、高齢者が増えている（ビルメンテナンス業）
- ・いくら募集しても集まらない。会議所が全県規模でマッチングを考えて欲しい（食堂）

総括表

秋田県内中小企業景況調査
全産業別景気判断比較表(DI値)
(第4半期:2023年10月~12月)

(▲マイナス)

	業況						売上額・完成工事額						資金繰り					
	前期(7-9月)		今期(10-12月)				前期(7-9月)		今期(10-12月)				前期(7-9月)		今期(10-12月)			
	(A)	来期見通 (10~12月)	(C)	前期比 (C)-(A)	(D)	来期見通 今期比 (D)-(C)	(A)	来期見通 (10~12月)	(C)	前期比 (C)-(A)	(D)	来期見通 今期比 (D)-(C)	(A)	来期見通 (10~12月)	(C)	前期比 (C)-(A)	(D)	来期見通 今期比 (D)-(C)
		(B)						(B)						(B)				
全産業	▲20.7	▲19.6	▲11.2	9.5	▲17.1	-5.9	▲14.8	▲13.6	▲6.5	8.3	▲19.0	-12.5	▲10.1	▲11.2	▲11.2	-1.1	▲13.7	-2.5
建設業	▲19.4	▲16.7	▲9.4	10.0	▲9.3	0.1	▲36.1	▲30.6	▲3.1	33.0	▲15.7	-12.6	▲8.3	▲13.8	3.1	11.4	▲3.1	-6.2
製造業	▲15.1	▲12.1	0.0	15.1	▲21.9	-21.9	▲6.1	▲3.0	▲3.1	3.0	▲25.0	-21.9	0.0	▲9.1	▲6.2	-6.2	▲28.1	-21.9
卸売業	▲35.3	▲47.1	▲8.1	27.2	▲16.2	-8.1	▲14.7	▲29.4	▲2.7	12.0	▲18.9	-16.2	▲11.7	▲20.6	▲13.5	-1.8	▲18.9	-5.4
小売業	▲29.1	▲19.4	▲39.4	-10.3	▲33.3	6.1	▲29.0	▲6.5	▲27.2	1.8	▲30.3	-3.1	▲12.9	0.0	▲21.2	-8.3	▲12.1	9.1
サービス業	▲5.7	▲2.9	0.0	5.7	▲5.7	-5.7	11.5	2.8	2.8	-8.7	▲5.7	-8.5	▲17.1	▲11.4	▲17.2	-0.1	▲5.7	11.5

	受注残(未消化工事高)						採算(経常利益)						従業員(含む臨時)					
	前期(7-9月)		今期(10-12月)				前期(7-9月)		今期(10-12月)				前期(7-9月)		今期(10-12月)			
	(A)	来期見通 (10~12月)	(C)	前期比 (C)-(A)	(D)	来期見通 今期比 (D)-(C)	(A)	来期見通 (10~12月)	(C)	前期比 (C)-(A)	(D)	来期見通 今期比 (D)-(C)	(A)	来期見通 (10~12月)	(C)	前期比 (C)-(A)	(D)	来期見通 今期比 (D)-(C)
		(B)						(B)						(B)				
全産業	▲5.7	▲5.8	▲18.7	-13.0	▲17.2	1.5	▲16.0	▲17.8	▲15.4	0.6	▲17.2	-1.8	▲30.8	▲32.0	▲30.2	0.6	▲27.8	2.4
建設業	0.0	0.0	▲21.9	-21.9	▲18.7	3.2	▲19.5	▲19.5	▲12.5	7.0	▲18.7	-6.2	▲47.2	▲47.2	▲46.9	0.3	▲37.5	9.4
製造業	▲9.1	▲12.1	▲15.6	-6.5	▲15.6	0.0	▲12.1	▲12.1	6.3	18.4	▲15.7	-22.0	▲6.1	▲15.1	▲31.3	-25.2	▲21.8	9.5
卸売業	—	—	—	—	—	—	▲21.2	▲41.2	▲13.5	7.7	▲10.8	2.7	▲35.3	▲26.5	▲27.0	8.3	▲32.4	-5.4
小売業	—	—	—	—	—	—	▲9.7	▲6.4	▲36.3	-26.6	▲30.3	6.0	▲12.9	▲16.2	▲18.1	-5.2	▲21.2	-3.1
サービス業	—	—	—	—	—	—	▲17.2	▲8.6	▲20.0	-2.8	▲11.4	8.6	▲48.5	▲51.4	▲28.6	19.9	▲25.7	2.9

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。
:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果(業種別比較表)

(第4四半期:2023年10月~12月)

1. 今期の状況

業 種 \ 項 目		業 況			売上額・完成工事額			資 金 繰 り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全産業	実数	25	100	44	45	68	56	12	126	31	6	40	18	31	81	57	7	104	58
	%	14.8	59.2	26.0	26.6	40.2	33.1	7.1	74.6	18.3	9.4	62.5	28.1	18.3	47.9	33.7	4.1	61.5	34.3
	DI	▲ 11.2			▲ 6.5			▲ 11.2			▲ 18.7			▲ 15.4			▲ 30.2		
建設業	実数	3	23	6	6	19	7	3	27	2	3	19	10	3	22	7	0	17	15
	%	9.4	71.9	18.8	18.8	59.4	21.9	9.4	84.4	6.3	9.4	59.4	31.3	9.4	68.8	21.9	0.0	53.1	46.9
	DI	▲ 9.4			▲ 3.1			3.1			▲ 21.9			▲ 12.5			▲ 46.9		
製造業	実数	6	20	6	10	11	11	3	24	5	3	21	8	10	14	8	1	20	11
	%	18.8	62.5	18.8	31.3	34.4	34.4	9.4	75.0	15.6	9.4	65.6	25.0	31.3	43.8	25.0	3.1	62.5	34.4
	DI	0.0			▲ 3.1			▲ 6.2			▲ 15.6			6.3			▲ 31.3		
卸売業	実数	6	22	9	9	18	10	2	28	7				8	16	13	2	23	12
	%	16.2	59.5	24.3	24.3	48.6	27.0	5.4	75.7	18.9				21.6	43.2	35.1	5.4	62.2	32.4
	DI	▲ 8.1			▲ 2.7			▲ 13.5						▲ 13.5			▲ 27.0		
小売業	実数	1	18	14	9	6	18	0	26	7				2	17	14	2	23	8
	%	3.0	54.5	42.4	27.3	18.2	54.5	0.0	78.8	21.2				6.1	51.5	42.4	6.1	69.7	24.2
	DI	▲ 39.4			▲ 27.2			▲ 21.2						▲ 36.3			▲ 18.1		
サービス業	実数	9	17	9	11	14	10	4	21	10				8	12	15	2	21	12
	%	25.7	48.6	25.7	31.4	40.0	28.6	11.4	60.0	28.6				22.9	34.3	42.9	5.7	60.0	34.3
	DI	0.0			2.8			▲ 17.2						▲ 20.0			▲ 28.6		

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果(業種別比較表)

(第4四半期:2023年10月~12月)

2. 来期の見通し

業種	項目	業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全産業	実数	16	108	45	31	75	63	7	132	30	5	43	16	19	102	48	11	100	58
	%	9.5	63.9	26.6	18.3	44.4	37.3	4.1	78.1	17.8	7.8	67.2	25.0	11.2	60.4	28.4	6.5	59.2	34.3
	DI	▲ 17.1			▲ 19.0			▲ 13.7			▲ 17.2			▲ 17.2			▲ 27.8		
建設業	実数	2	25	5	5	17	10	2	27	3	3	20	9	2	22	8	2	16	14
	%	6.3	78.1	15.6	15.6	53.1	31.3	6.3	84.4	9.4	9.4	62.5	28.1	6.3	68.8	25.0	6.3	50.0	43.8
	DI	▲ 9.3			▲ 15.7			▲ 3.1			▲ 18.7			▲ 18.7			▲ 37.5		
製造業	実数	0	25	7	3	18	11	0	23	9	2	23	7	1	25	6	2	21	9
	%	0.0	78.1	21.9	9.4	56.3	34.4	0.0	71.9	28.1	6.3	71.9	21.9	3.1	78.1	18.8	6.3	65.6	28.1
	DI	▲ 21.9			▲ 25.0			▲ 28.1			▲ 15.6			▲ 15.7			▲ 21.8		
卸売業	実数	5	21	11	7	16	14	1	28	8				6	21	10	2	21	14
	%	13.5	56.8	29.7	18.9	43.2	37.8	2.7	75.7	21.6				16.2	56.8	27.0	5.4	56.8	37.8
	DI	▲ 16.2			▲ 18.9			▲ 18.9						▲ 10.8			▲ 32.4		
小売業	実数	2	18	13	5	13	15	0	29	4				2	19	12	2	22	9
	%	6.1	54.5	39.4	15.2	39.4	45.5	0.0	87.9	12.1				6.1	57.6	36.4	6.1	66.7	27.3
	DI	▲ 33.3			▲ 30.3			▲ 12.1						▲ 30.3			▲ 21.2		
サービス業	実数	7	19	9	11	11	13	4	25	6				8	15	12	3	20	12
	%	20.0	54.3	25.7	31.4	31.4	37.1	11.4	71.4	17.1				22.9	42.9	34.3	8.6	57.1	34.3
	DI	▲ 5.7			▲ 5.7			▲ 5.7						▲ 11.4			▲ 25.7		

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果（地域別比較表）

（第4四半期：2023年10月～12月）

1. 今期の状況

業種	項目	業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全県	実数	25	100	44	45	68	56	12	126	31	6	40	18	31	81	57	7	104	58
	%	14.8	59.2	26.0	26.6	40.2	33.1	7.1	74.6	18.3	9.4	62.5	28.1	18.3	47.9	33.7	4.1	61.5	34.3
	DI	▲ 11.2			▲ 6.5			▲ 11.2			▲ 18.7			▲ 15.4			▲ 30.2		
秋田	実数	16	32	15	19	22	22	6	49	8	3	10	9	16	24	23	3	37	23
	%	25.4	50.8	23.8	30.2	34.9	34.9	9.5	77.8	12.7	13.6	45.5	40.9	25.4	38.1	36.5	4.8	58.7	36.5
	DI	1.6			▲ 4.7			▲ 3.2			▲ 27.3			▲ 11.1			▲ 31.7		
大館	実数	3	15	6	8	9	7	3	16	5	2	5	2	6	11	7	1	13	10
	%	12.5	62.5	25.0	33.3	37.5	29.2	12.5	66.7	20.8	22.2	55.6	22.2	25.0	45.8	29.2	4.2	54.2	41.7
	DI	▲ 12.5			4.1			▲ 8.3			0.0			▲ 4.2			▲ 37.5		
能代	実数	1	15	6	4	12	6	0	18	4	0	6	3	2	13	7	1	16	5
	%	4.5	68.2	27.3	18.2	54.5	27.3	0.0	81.8	18.2	0.0	66.7	33.3	9.1	59.1	31.8	4.5	72.7	22.7
	DI	▲ 22.8			▲ 9.1			▲ 18.2			▲ 33.3			▲ 22.7			▲ 18.2		
大曲	実数	3	15	4	5	13	4	2	16	4	1	7	1	4	12	6	1	13	8
	%	13.6	68.2	18.2	22.7	59.1	18.2	9.1	72.7	18.2	11.1	77.8	11.1	18.2	54.5	27.3	4.5	59.1	36.4
	DI	▲ 4.6			4.5			▲ 9.1			0.0			▲ 9.1			▲ 31.9		
横手	実数	1	11	7	5	6	8	1	13	5	0	6	2	1	12	6	1	12	6
	%	5.3	57.9	36.8	26.3	31.6	42.1	5.3	68.4	26.3	0.0	75.0	25.0	5.3	63.2	31.6	5.3	63.2	31.6
	DI	▲ 31.5			▲ 15.8			▲ 21.0			▲ 25.0			▲ 26.3			▲ 26.3		
湯沢	実数	1	12	6	4	6	9	0	14	5	0	6	1	2	9	8	0	13	6
	%	5.3	63.2	31.6	21.1	31.6	47.4	0.0	73.7	26.3	0.0	85.7	14.3	10.5	47.4	42.1	0.0	68.4	31.6
	DI	▲ 26.3			▲ 26.3			▲ 26.3			▲ 14.3			▲ 31.6			▲ 31.6		

※ DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

：従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果（地域別比較表）

（第4四半期：2023年10月～12月）

2. 来期の見通し

業種	項目	業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全県	実数	16	108	45	31	75	63	7	132	30	5	43	16	19	102	48	11	100	58
	%	9.5	63.9	26.6	18.3	44.4	37.3	4.1	78.1	17.8	7.8	67.2	25.0	11.2	60.4	28.4	6.5	59.2	34.3
	DI	▲ 17.1			▲ 19.0			▲ 13.7			▲ 17.2			▲ 17.2			▲ 27.8		
秋田	実数	9	36	18	13	22	28	4	49	10	1	12	9	10	31	22	8	35	20
	%	14.3	57.1	28.6	20.6	34.9	44.4	6.3	77.8	15.9	4.5	54.5	40.9	15.9	49.2	34.9	12.7	55.6	31.7
	DI	▲ 14.3			▲ 23.8			▲ 9.6			▲ 36.4			▲ 19.0			▲ 19.0		
大館	実数	2	15	7	6	8	10	1	18	5	2	6	1	4	13	7	1	11	12
	%	8.3	62.5	29.2	25.0	33.3	41.7	4.2	75.0	20.8	22.2	66.7	11.1	16.7	54.2	29.2	4.2	45.8	50.0
	DI	▲ 20.9			▲ 16.7			▲ 16.6			11.1			▲ 12.5			▲ 45.8		
能代	実数	1	17	4	2	11	9	0	18	4	0	7	2	1	17	4	0	18	4
	%	4.5	77.3	18.2	9.1	50.0	40.9	0.0	81.8	18.2	0.0	77.8	22.2	4.5	77.3	18.2	0.0	81.8	18.2
	DI	▲ 13.7			▲ 31.8			▲ 18.2			▲ 22.2			▲ 13.7			▲ 18.2		
大曲	実数	1	17	4	3	16	3	0	19	3	2	6	1	1	17	4	1	10	11
	%	4.5	77.3	18.2	13.6	72.7	13.6	0.0	86.4	13.6	22.2	66.7	11.1	4.5	77.3	18.2	4.5	45.5	50.0
	DI	▲ 13.7			0.0			▲ 13.6			11.1			▲ 13.7			▲ 45.5		
横手	実数	2	10	7	4	7	8	2	12	5	0	6	2	2	10	7	1	13	5
	%	10.5	52.6	36.8	21.1	36.8	42.1	10.5	63.2	26.3	0.0	75.0	25.0	10.5	52.6	36.8	5.3	68.4	26.3
	DI	▲ 26.3			▲ 21.0			▲ 15.8			▲ 25.0			▲ 26.3			▲ 21.0		
湯沢	実数	1	13	5	3	11	5	0	16	3	0	6	1	1	14	4	0	13	6
	%	5.3	68.4	26.3	15.8	57.9	26.3	0.0	84.2	15.8	0.0	85.7	14.3	5.3	73.7	21.1	0.0	68.4	31.6
	DI	▲ 21.0			▲ 10.5			▲ 15.8			▲ 14.3			▲ 15.8			▲ 31.6		

※ DI値：「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。
 : 従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

県内景況調査に対する各企業のコメント

I 今期の特徴（2023年10～12月）

1 県 央	
建設業	災害復旧関連の工事が終わり一安心している。他の工事も見込みが見えてきた【一般土木建築工事業】
建設業	水害復旧工事が思うように進んでいない【木造建築工事業】
建設業	工事が順調に進み経費を節約できた一方、遅延工事の発生により【土木工事業】
建設業	前半に未消化工事があり、状況的には昨年と同様【塗装工事業】
建設業	人員が昨年より増加したため、消化工事量が増加し、完成高が増加となった【一般電気工事業】
製造業	前年同期間のコロナ第八波による大幅減の裏返しの期待も叶わず、ほぼ前年並みの実績で着地。比較的高めの気温の影響に加え、業務用は人流の回復により客足は徐々に戻りつつあるが、宴会の少人数化、一次会のみで売上が振るわない。家庭用は物価高を受けた消費者の生活防衛意識が強まり回復の力強さは感じられない。【清酒製造業】
製造業	業績がようやく上向いた【水産物製造・卸売業】
製造業	国内工場の減少により、一部工場に受注が集中している【婦人服製造業】
製造業	スポット受注により売上は増加した【印刷業】
製造業	世界情勢の不安定化による資材高騰等により、案件の中止も発生してきた【金属製品製造業】
製造業	主な取引先の減産により売上が減少した【消火器具・消火装置製造業】
卸売業	天候不良により相場が高騰し、売上が増加した【野菜卸売業】
小売業	暖冬の影響と消費の冷え込みが大きく、売上が減少した【靴小売業】
小売業	メーカー生産がほぼ正常化し、国内向け出荷台数が増加していることから増収増益となった【自動車小売業】
サービス業	石油をはじめ、様々な製品の値上がりが続いており、業況が悪化している【普通洗濯業】
サービス業	売上および採算は改善しているものの、新型コロナ前への完全回復は見込めない状況【一般乗用旅客自動車運送業】

2 県 北	
小売業	コロナ特需が終わり、売上減少となった【生花・造花販売】
小売業	昨年は同業大手の進出で売上が下がったが、今年は物価高騰により消費を抑えている影響がある【菓子製造販売】
小売業	メーカーの値上げにより、仕入れと売上のバランスが良くなかった【タイヤ販売】
小売業	タクシーや代行不足で酒類の消費が落ち込んでいる【酒類販売】
小売業	暖冬により、防寒具の売上が減少した。【衣類販売】

3 県 南	
建設業	完成工事額、採算ともに不変【総合建築工事業】
建設業	年末の駆け込み需要が多く、雪解けを待つ工事と併せ、春先の工事も確保できている【板金工事業】
製造業	価格転嫁が進んだおかげで、前期より売上・採算共に増加した【コンクリート製造】
製造業	スポット案件および営業権譲渡により、売上と採算が増加した【印刷業】
小売業	値上げや円安により、売上や採算に大きく悪影響を及ぼしている【金物小売】
小売業	同期比は微減。年間を通じると前年並みで推移した【酒類、食料品】
サービス業	昨年比で増加しているが、コロナ前との比較では60%程度の回復状況となっており、資金繰りは悪化している【冠婚葬祭場】

Ⅱ 来期の見通し（2024年1～3月）

1 県 央	
建設業	災害復旧関連の工事の見通しが立たない【一般土木建築工事業】
建設業	年明け以降、完成工事額や資金繰りが少しづつ回復すると予想【木造建築工事業】
建設業	若干の減少が予想される【塗装工事業】
建設業	降雪の状況により工事内容が変化するため見通しできないところがある【一般電気工事業】
製造業	概ね前年並みの基調と予想。大手製瓶メーカーの生産休止により一升瓶不足がさらに深刻化し、確保難とリユース瓶価格の高騰が懸念される【清酒製造業】
製造業	鱒等の水揚げは順調であるが、稼働回数等を考慮すると期待できない。【水産物製造・卸売業】
製造業	物価上昇に併せ、加工賃にもある程度反映できており、売上は増加する見込み【婦人服製造業】
製造業	来期はスポット受注が期待できず売上は減少する見込み【印刷業】
製造業	前期より更に冷え込みそうな予感【金属製品製造業】
製造業	営業力を強化する必要がある【消火器具・消火装置製造業】
小売業	昨年休業していた期間が長かったため、比較すると売上は増加する見込み【靴小売業】
小売業	商品の切替等により、受注可能車種が限定的になっており、新規受注台数が減少していることに加え、一部車種の生産・出荷が停止されていることから、前年同期間の販売台数を大きく下回ることによって減収減益が見込まれる【自動車小売業】
サービス業	天候等にも影響されるが、悪化が見込まれる【普通洗濯業】
サービス業	売上および採算は改善しているものの、新型コロナ前への完全回復は見込めない状況【一般乗用旅客自動車運送業】

2 県 北	
小売業	営業努力をするも売上は減少すると予想している【生花・造花販売】
小売業	景気は戻ってきたとはいえ、まだ回復はしていない【菓子製造販売】

3 県 南	
建設業	採算面は不変としたが、物価の高騰が続いており不透明である【総合建築工事業】
建設業	材料や経費（運搬等）等価格変動を見て工事を控える方が多い。昨年のような受注確保は難しいかもしれないが、営業努力で受注確保を目指す【板金工事業】
製造業	冬季現場が少ないことから、前年並みを見込んでいる【コンクリート製造】
製造業	スポット案件および営業権譲渡により、売上と採算が増加した【印刷業】
製造業	新店舗オープンにより売上アップを期待している【漬物製造】
小売業	商品の値上げや諸経費負担増で売上と採算に差がでる【事務用品販売】
小売業	雪不足により売上が減少している【金物小売】
小売業	出張販売の売上増加を見込んでいる【酒類、食料品】
サービス業	増加予測だが、コロナ前との比較では70%弱程度の回復状況となっているため、資金繰りは悪化する見通し【冠婚葬祭式場】